

METAL WORLD



國際金屬勞連 (I M F) 季刊誌



IMF 世界大会

特集 2、7～14 ページ

No.2
2005

今後の新たな課題

第31回IMF世界大会が終わった。IMFは新たな一歩を踏み出した。

新しい規約、アクション・プログラム改訂版、8人の女性執行委員、各国の代議員の間に生まれた新しい絆や出会い。これらは3日間の討論・議論の結果である。

ところで、最も重要な活動がまだ実施されていない。素晴らしいアイデアや決定をすべて実行に移し、世界中の金属労働者とその家族の労働・生活条件を改善することである。

私たちIMF関係者全員は、すべての加盟組織とともに、大会の結果を組織全体に広める大きな責任を負っている。コミュニケーション、訓練、教育は、この重要な活動を実行するための手段である。

しかし、これだけでは変化を生み出すことができず、具体的な行動と結びつけなければならない。例えば、長期的な組織化プロジェクト、臨機応変の連帯活動、国際枠組み協約の追求とその潜在的可能性の存分な活用、世界企業別協議会の利用によるサプライ・チェーン内部での連携の確立・強化など、数々の活動が挙げられる。

代議員の反応や私自身の印象から判断すれば、大会は成功を収めた。私たちはIMFの未来につながる成果を達成した。この大会は興味深い行事であり、議論もうまく計画・実施された。

代議員の参加状況はかつてないほど好調で、大会に出席した女性の人数も増えた。

今後もIMFの全レベルで引き続き努力し、徐々に参加者数を増やしていかなければならない。

このような状況において、作業現場から実体験を報告す

る代議員がもっとたくさん出席し、積極的に討論に貢献できるようにしなければならない。この発展を促すには、会議の手続きを変更し、討論の途中でもっと頻繁かつ短い発言を認め、参加者が原文の修正を提案できるようにすればよく、実際にそうすべきである。さらに大きな課題は、若い新世代の人々を国際労働組合活動とIMFに引きつけることの必要性である。IMFと多くの加盟組織が世代交代に直面している今、これはますます喫緊の任務になっている。

私たちの目標はIMFアクション・プログラムに関して議論することではなく、それを実行し、労働者のために効果を生み出すことである点を忘れないようにしましょう。2009年の次期大会では、例えば次のように報告できればいいと思う。

努力を結集したおかげで、さらに多くのEPZ（輸出加工区）労働者が組織化された。

努力を結集し、国際枠組み協約を締結したおかげで、多くの現場、国々および大陸で労働者の諸権利が改善した。

努力を結集したおかげで、アスベスト全面禁止が達成された。

これを実現するために、今後とも皆様方全員と協力していきたい。



マルチェロ・マレンタッキ
IMF書記長
mmalentacchi@imfmetal.org

マルチェロ・マレンタッキ

「メタル・ワールド」発行人：国際金属労連（IMF）

IMF住所：
P.O.Box 1516
54 bis, route des Acacias
CH-1227 GENEVA
Switzerland
Tel:++41 22 308 50 50
Fax:++41 22 308 50 55

IMFホームページ：
www.imfmetal.org

会長：
ユルゲン・ペータース

書記長：
マルチェロ・マレンタッキ
mmalentacchi@imfmetal.org

編集長：
ジェスパー・ニルソン
jnilsson@imfmetal.org



ニュース編集長：
アニタ・ガードナー
agardner@imfmetal.org

グラフィックデザイン：
イングバー・ニルソン

表紙：
IMF世界大会開会式

写真：
ギゼラ・オルトナー

メタル・ワールドは英語、ロシア語、日本語で発行されます。

記事の意見は必ずしもIMFの見解とは限りません

日本語版翻訳・発行者：
全日本金属産業労働組合協議会
（IMF-JC）

発行日：
2005年8月30日

目次

2005年・No.2



IMF ニュース

BMWと国際枠組み協約を締結

IMFはBMWと枠組み協約を締結した。この協約の実施については、今年後半に、IGメタルをはじめBMW事業に関係のある労働組合関係者が参加するIMF会合で討議する。

5



大会ニュース

IMF 世界大会

ウィーンで開かれた大会に世界中から800人の代議員が集まり、IMFアクション・プログラム改訂版や規約改定案に団結して取り組んだ。重要な決定や人々、各種キャンペーンに関する詳しい記事を参照のこと。

7



スポットライト

IMF 規約改定

IMF世界大会はIMF規約改定を承認した。特に、新しい規約によって年加盟費・投票制度の公平性・透明性が高まる。『メタル・ワールド』で、その方法と理由を説明する。

12



プロフィール

ベラ・バロク氏

新任のベラ・バロク・ハンガリー金属労連会長は、組織を確立・強化するための新しい方法の案出に焦点を合わせているが、同労連の基礎となる伝統的な価値観を忘れてはいない。

16

IMF 概要 15 カレンダー 15

IMF と中国

『メタル・ワールド』本号は、いつもよりずいぶん薄い。これは、IMF大会の議事と結果をできるだけ早く報告したかったからである。同じ理由から、本号では、ほぼ全面的に大会と関連会合（女性会議、中央委員会など）に焦点を絞っている。

この場をお借りして、とりあえず大会の詳細と考えられるであろう事柄をお伝えしておきたい。11ページで報告するように、大会に先立ってウィーンで開かれたIMF執行委員会において、IMFが労働組合権・人権に関して多国籍企業の中国人労働者に関与することが決定された。これを達成するための具体的な計画については、今年後半にIMF中国作業部会で検討を加える予定である。執行委員会は明らかに、この前例のない決定が非常に重要であり、将来的に大きな戦略的影響を及ぼすことを十分に認識している。

執行委員会が下した決定の要点の1つは、IMFは中国における労働者の諸権利や人権の侵害を調査・暴露しなければならない、ということである。『メタル・ワールド』は、これまでにそのような記事を掲載したことがある。今後、そのための努力をさらに強化していく予定である。労働者にとっては残念なことに、数々の侵害が報告されている。その一例を6ページで紹介する。福永の日系多国籍企業で、当局がストライキを厳しく取り締まった事例である。



ジェスパー・ニルソン
編集長
jnilsson@imfmetal.org

ニュース

ホンダに損害賠償金 40 万米ドルの支払い命令

カナダ：カナダの裁判所はホンダ・カナダ社に対し、元従業員の1人に40万米ドルの懲罰的損害賠償金を支払うよう命じた。カナダの雇用関連事件で過去最高額と言われるこの罰金は、慢性疲労症候群（CFS）にかかった従業員の取り扱いにおける同社の行為に対して科せられた。

38歳のケビン・キース氏がホンダで働き始めたのは、同社が1986年にオンタリオ州アリソンに初めて組立工場を開設したときのことである。キース氏は、数年後に健康上の問題を抱えるようになり、1996年にCFSと診断され、その後2年間は断続的に身体障害保険を受給した。これらの給付が打ち切られたあと、キース氏は1998年に復職せざるをえなかった。

フルタイムの仕事に戻ったキース氏は、まもなく何日か仕事を休むようになったが、これは病気が原因で起こるであろうと主治医が予告していたことだった。労働者が組合によって代表されていないホンダ工場で、キース氏は代理人として弁護士を雇うなど、経営側と何とか和解しようと繰り返し試みた。その努力にもかかわらず、キース氏は2000年3月に解雇された。

裁判所は、この労働者を解雇したことに関してホンダを強く批判し、同社の行動は計画的・意図的なものであり、キース氏に対する長期的な企業共謀に該当すると説明した。

IMF がベラルーシの労働組合を除名

オーストリア：IMFは1年以上前から、ベラルーシの加盟組織、自動車・農業機械労組（AAM）における事態の展開を警戒してきた。2003年12月の臨時AAM大会で、同労組のアリアクサンドル・ブクボスタウ会長と副会長が追放されたが、その背後には突き詰めていくとアレクサンドル・ルカシェンコ・ベラルーシ大統領の指示があったと思われる。

また、IMFに入った報告によると、使用者側も大会代議員の選出に干渉して当時の指導部の敵対者を後援しただけでなく、どうやら大会に出席して「自分たちの」候補者が旧指導部に反対票を投じたかどうかチェックしたらしい。

このような状況を背景に、2004年5月にIMF執行委員会は、AAMのIMF加盟資格を一時停止し、IMF中央委員会に同労組の除名を勧告することを決定した。

5月にオーストリアのウィーンで開かれたIMF中央委員会は、この勧告に従ってAAMを除名することを決定した。

ユルゲン・ペーターズIMF会長は、この中央委員会で次のように述べた。「連帯に基づくIMF共同体からの除名は、最後の手段でなければならない。しかし、非民主的な方向へ進んでいる労働組合を容認することはできない」

ベラルーシのIMF加盟組織はREPAMだけになった。



中央委員会に出席した鎌田普、M・マレンタッキ、J・ペーターズの各氏

IMF 活動

BMW と国際枠組み協約を締結

ドイツ：IMFはBMWと国際枠組み協約（IFA）を締結した。「BMWグループにおける人権および労働条件に関する共同宣言」は、IMFと多国籍企業とが締結した11番目のIFAである。

この協約は、すべての国際労働機関（ILO）中核的労働条約を組み入れるとともに、報酬、労働時間、労働安全衛生に関する規定を盛り込んでおり、BMWに同宣言に従うことを義務づけている。関連ILO中核的労働基準は、奴隷・児童労働の利用の禁止と結社自由・団体交渉権に関する基準などである。この協約は、「BMWグループは取引先やサプライヤーに対し、持続的な取引関係の評価基準として、これらの原則の採用を求める」とも規定している。

協約は、4月26日にユルゲン・ベータースIMF会長、マインフレート・ショッホ欧州従業員代表委員会委員長および会社側代表によって締結された。締結に至るまでには、会社側代表と労働組合・労働者代表との間で長く厳しい交渉が行われた。



米国スパータンバーグのBMW工場
写真：BMW

協約の実施については、今年9月に開かれるIMF会合で、IGメタル、BMW欧州従業員代表委員会代表、ヨーロッパ域外で同社事業を代表・組織化する労働組

合関係者が議論する。

協約のドイツ語版と英語版はIMFウェブサイトで購入できる。その他の言語の協約も完成次第、掲示する予定である。

BMWの主要製造工場

BMWは15カ国以上に進出している。主要工場を国別に分類すると以下のとおりである。

ドイツ：ベルリン、ディンゴルフィンゲン、アイゼナハ、ランツフート、ライプチヒ、ミュンヘン、レーゲンスブルク、パッサウ

イギリス：グッドウッド、ハムズ・ホール、オックスフォード、スウィンドン

オーストリア：グラーツ（シュタイアー、契約生産）

南アフリカ共和国：ロスリン

アメリカ：スパータンバーグ

メキシコ：トルーカ

ブラジル：クリティバ

タイ：ラヨン

中国：瀋陽

フィリピン：マニラ

マレーシア：クアラルンプール

インドネシア：ジャカルタ

ベトナム：ハノイ

ロシア：カリーニングラード

エジプト：カイロ

イランの自動車労働者が釈放される

イラン：「イラン・ホドロ労働者グループ」の声明によると、4月12日に不当に拘留されたイラン・ホドロ組立ライン労働者のバルビズ・サルバンド氏が、5月の終わりに釈放された。

イランの国際労働者支援同盟（International Alliance in Support of Workers）の報告によれば、この労働者の声明は、サルバンド氏が同氏の釈放を求める国際キャンペーンのおかげで釈放されたことを強調している。このキャンペーンにはIMFとその加盟組織も参加した。

労働者はサルバンド氏の釈放を祝福しているが、イラン・ホドロ自動車工場では相変わらず労働条件が劣悪で、会社側が労働者を弾圧し続けている。

これに対して労働者は、書簡やストライキ、その他の集団行動をはじめ、さまざまな抗議行動を実施している。労働者の当面の要求は、会社側が以下の措置を講じることである。

国際的に認知された労働条約・協定すべての承認
臨時契約を利用する方針の放棄

国際的に受け入れられる水準・慣行の職場安全衛生の採用

週労働時間に関する規則の遵守

同一労働に対する同一賃金の支給

労働組合指導者に対する弾圧や労働者の諸権利の侵害の停止

労働組合活動家への安全・雇用保障の提供

自分たち自身の自由な独立組織を結成する労働者の権利の承認

労働者は国際組織に対しても、同社の活動を継続的に監視するよう要求しており、国際労働運動と世界中の金属労組に闘争への支援を求めている（詳しくはIMFウェブサイト参照）。

労働者が DC 工場閉鎖の威嚇に抗議

ブラジル：ダイムラークライスラー（DC）は5月に、ジュイス・デ・フォラ工場でCKDキットによるメルセデスCクラスの組立を再開すると発表した。

この決定は、CNM/CUTが4月8日に組織した集会に1,500人を超える労働者と地域住民が参加し、ミナス・ジェライス州にあるジュイス・デ・フォラ工場を閉鎖するというDCの威嚇に抗議したあとに下された。その時点で、DCはスマート・フォーモアSUVの開発中止とメルセデスAクラスの生産終了を発表しており、1,160人の雇用が危機にさらされていた。

同社がメルセデスCクラスの組立再開を決定したことで工場は操業を継続するが、労働組合の考えによれば、この決定は工場の将来を保証するものではない。「年間7万台を生産するために建設された工場で、キットを組み立てて採算が取れるはずがないことは分かっている」と、地方組合役員は言った。さらに、CKD事業は地元サプライヤーの労働者を助けることにはならず、メルセデ

スAクラスの生産が段階的に縮小される中で、サプライヤー各社は従業員のレイオフに着手している。

この工場は、ミナス・ジェライス州が公的資金から数億ドル相当の投資奨励金をDCに提供し

たあと、1996年に創設された。この奨励金には、土地の寄贈、輸送インフラの開発、税額控除、訓練、完全装備の通信・IT・医療施設の無料利用が含まれていた。組合代表と政府代表は、工場を閉鎖するなら、連邦・州・自治体政府が負担した費用全額の返済をDCに求めることを検討している。



ジュイス・デ・フォラ（ブラジル）の市議会議事堂で抗議するDC労働者

MG ローバー破産で数千人が失業

イギリス：イギリス最後の独立大手自動車メーカーであるMGローバーは4月、14億ユーロの投資取引をめぐる上海自動車との交渉が決裂した結果、管財手続きに入ることを余儀なくされた。

同社の破綻は、ロングブリッジ工場の6,000人を超える労働者だけでなく、サプライヤー企業（その多くがウェスト・ミッドランズ地域近辺にある）で働く労働者1万8,000人にも影響を及ぼす。

運輸一般労働組合のトニー・ウッドリー書記長によれば、同労組は現在、管財人と緊急協議を実施しており、数千人の関連

労働者のために何ができるか調べようとしている。

同社から数百万ポンドが流出しているという懸念から、イギリス政府は、MGローバーとその所有者の口座を正式に調査するよう命令した。



数千人の失業で動揺するMGローバーの労働者 写真：ジョン・ハリス / reportdigital.co.uk

自由貿易地区で労働者がストライキ

トルコ：IMF加盟組織トルコ金属労組からの報告によれば、LISIエアロスペースで175人の組合員が1カ月間にわたって（トルコの自由貿易地区で初めての）ストライキを実施したあと、労働協約が締結された。労働者はデ

イーセントな賃金・労働条件の要求を支持して、この行動を起こした。新しい協約には、平均14%の賃上げ、60日分の付加手当、30分の有給の昼休みが含まれる。

シュコダ自動車で協約を締結

チェコ共和国：1万7,000人を超える労働者が集会に加わった結果、シュコダ自動車（VWグループ）は態度を変えて賃上げに同意した。IMFに加盟するチェコ共和国金属労連（OS KOVO）は3月30日、3工場すべてで1時間

の作業停止会合を開き、生産活動を完全に中止した。4月4日に承認された労働協約には、2005年6月1日からの少なくとも7%の賃上げに加えて、付加手当の増額も盛り込まれている。

中国の労働者がストライキ

中国：福永のユニデン・エレクトロニクス・プロダクツ工場で8日間のストライキが実施されたあと、1万1,000人近くの労働者が職場復帰を強要され、数人のストライキ指導者が行方不明になっている、との報告がある。労働者は、労働組合を結成する権利を求めて抗議しており、

「会社側が撤退すると言って威嚇した結果、地方政府が取り締まりを実施した」と考えている。この工場は、ウォルマートにコードレス電話を供給している日本企業ユニデンの主要製造工場である。

IMF 世界大会、5月22 - 26日



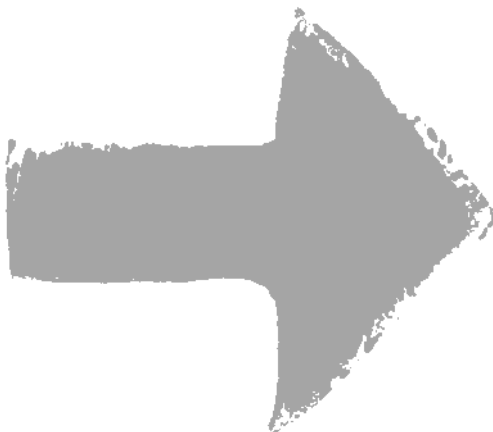
インドネシアのエドワード・パーサウリアン・マーバウン氏

すべての大会関連写真：ギゼラ・オルトナー

金属労組が労働者の諸権利を 促進するために集結

オーストリア・ウィーン：5月22日～26日の第31回IMF世界大会に、世界中から800人の金属労働者が集まった。議題は、グローバル化が労働者に及ぼす悪影響に対抗するために立案されたIMFアクション・プログラム、IMF規約改定、IMF機構における女性参加の促進だった。

以下、大会の議事と決定について報告する。詳しくはwww.imfmetal.org/congress2005を参照のこと。



代議員を歓迎するユルゲン・ベーターズ
IMF会長



マレーシア代表団の一部



大会では3つの円卓会議が開かれた。写真は、そのうちの1つ「オフショアリングの課題に取り組む」をめぐる討議。



カメルーンのルイズ・ンガンド・モウカラ氏



ネパールに関する決議を提出するインドのサルデ・スダーサン・ラオ氏

IMF 世界大会

「歴史的瞬間」



IMF 執行委員に選出された 8 人の女性のうち 7 人。左から順に、セリーナ・ティクウェ、ナイール・ゴウラート、マリ＝アン・クランツ、ルーシー・ストゥドニクナ、エミリア・パレンテ、キャロル・ランドリー、マーレ・アンチェバの各氏。ジェシー・ヨー・ホン・チェン氏は写っていない。

IMF 執行委員会 (2005 ~ 2009 年)

地域	正委員	組織・国
アフリカ	シルムコ・ノドワング	NUMSA、南アフリカ共和国
	セリーナ・ティクウェ	NUMSA、南アフリカ共和国
	ンカカティシ・ボニファセ	TUICO、タンザニア
	モハメド・ンシリ	FGME-UGTT、チュニジア
アジア太平洋	ジェシー・ヨー・ホン・チェン	IMF-SC、シンガポール
	ジュリアス・ロー	AMWU、オーストラリア
	G・サンジーヴァ・レディー	INMF、インド
	古賀伸明	IMF-JC、日本
ラテンアメリカ・カリブ海	エミリア・パレンテ	CNM-CUT、ブラジル
	ナイール・ゴウラート	CNTM、ブラジル
	ナポレオン・ゴメス	SNTMMS、メキシコ
	フランシスコ・グティエレス	UOM、アルゼンチン
北米	キャロル・ランドリー	USW、カナダ
	レオ・ジェラルド	USW、アメリカ
	トム・パッフェンバーガー	IAM、アメリカ
	ロン・ゲッテルフィンガー	UAW、アメリカ
西欧	ジャンニ・リナルディーニ	FLM (FIOM- CGIL)、イタリア
	マリ＝アン・クランツ	SIF、スウェーデン
	ヘルヴィット・ヨリッセン	CMB、ベルギー
	ユルゲン・ペータース	IGメタル、ドイツ
	デレク・シンブロン	IMFイギリス支部
	キェル・ピヨルン	合同産業労組、ノルウェー
中・東欧	ミハイル・タラセンコ	MMWU、ロシア
	ルーシー・ストゥドニクナ	OS KOVO、チェコ共和国
	マーレ・アンチェバ	SMER、マケドニア

大会で規約を改定し、初のIMF女性執行委員を選出

IMF 世界大会：IMF 世界大会は、その歴史上初めて女性執行委員を選出した。新しい規約（12～13ページ参照）では、各地域から少なくとも1人ずつ、最低6人の女性執行委員を選出することが義務づけられているが、その必要人数を超える合計8人の女性が選出された。

「これは実に感動的な歴史的瞬間だ」と、大会代議員が立ち上がって万雷の拍手でこの出来事を祝福する中で、オーストリアのIMF加盟組織、金属・繊維労組(GMT)のルディ・ニュルンベルガー会長は語った。「女性執行委員たちはIMFの活動・方針を充実させてくれるだろう。大変喜ばしいことだ」とニュルンベルガー会長は続けた。

改定後の規約には、執行委員会に中・東欧代表1人を追加し、執行委員数を合計25人にする規定も含まれている。この改定により、執行委員会は委員の中から1人の副会長を指名できるようにもなる。

大会では、ユルゲン・ペータース独IGメタル会長がIMF会長に、マルチェロ・マレンタッキ氏が書記長に再選された。

IMF 世界大会で代議員 7 人に聞きました：IMF がアスベスト全面禁止を



ポール・バス
チャン氏
AMWU、
オーストラリア

「素晴らしいことだと思う。世界中で犠牲者とその家族に荒廃をもたらしている、この唯一最大の致命的な産業用物質を除去するために、IMF加盟組織が協力することが重要だ」



リブ・クリスティ
アンセンさん
合同産業労組、
ノルウェー

「ノルウェーでは、組合が禁止を求めて運動した結果、20年前からアスベストが禁止されている。だが今日もなお、アスベストの影響が見られる。したがって、早急に全面禁止が必要とされる」



パリス・アトウコ
ラーレ(Palitha
Atukorale)氏
JSS、
スリランカ

「アスベスト全面禁止は絶対に必要だ。スリランカでは、労働者の記念日に独自のアスベスト禁止キャンペーンを開始した。組合が世界規模でキャンペーンを展開すれば、この運動が強化される」



カルメン・ア
ンリケさん
CONSTRAM-
ET、チリ

IMF 世界大会

IMF 加盟組織がアスベスト全面禁止を支持

IMF 世界大会：アスベスト全面禁止を求めるキャンペーンが大会で開始された。マルチェロ・マレンタッキ IMF 書記長は次のように述べた。「ほとんどの先進国が競ってアスベストを取り除こうとしている一方で、一部の国々は、この致命的な物質を特に開発途上国に販売し続けている」

毎年、アスベスト曝露が原因で10万人が死亡していると推定される。だが、アスベスト需要は2003年に増えたように、世界生産は対2002年比5.4%増を達成した。

インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、インド、韓国、中国など多くのアジア諸国では、短期的・中期的にアスベスト利用が大幅に増加すると予想される。

現在、中東およびアフリカ（特にアルジェリア、アンゴラ、モロッコ、セネガル）の消費が、世界需要の20%を占めている。

「先進国が発展途上国に関係なく、労働者がアスベストにさらされないようにしなければならない。この危険物質の生産を続ければ、苦痛と不必要な人命の損失を長引かせるだけだ」とマレンタッキ書記長は述べた。

今後のIMFキャンペーン活動には、今年と来年のILO総会におけるアスベスト禁止を求める活動や、数々の意識高揚活動が含まれる。ICFTUと並んでアスベスト全面禁止を支持している他のグローバル・ユニオン・フェデレーションは、ICEM、IFBWW、IFJ、IUFである。

2005～2009年IMFアクション・プログラム（セクション3.3.4）の関連規定には、次のように明記されている。



「IMFは、大会でのIMF展示物「死に至らしめるアスベスト」に見入る代議員たち

の生産、輸入、輸出および利用の国際的禁止を求めて運動する。アスベスト関連疾患にかかった労働者の治療費と補償金は、使用者が負担すべきである。各国政府に圧力をかけ、アスベスト禁止によって解雇された労働者のための移行プログラムを実施すべきである」

また、IMFイギリス支部は大会で「アスベスト全面禁止」に関する決議を提出した。大会はこの決議を採択した。

2005～2009年アクション・プログラムと上記の決議はIMFウェブサイト入手可能。

ようこそ、子どもたち！

今回の大会では、初めて託児サービスが提供された。このサービスのおかげで、大会に出席できる代議員が増え、特に若い代議員と女性の参加率が向上する。



支持していることについて、どうお考えですか。

「労働者には健康な生活を送る権利がある。この権利は普遍的なものであり、絶対に欠かせない。だから、このキャンペーンはとても重要だ」



ミハイル・タラセンコ氏
MMWU、ロシア

「これは正しい方針だ。けれども、アスベスト全面禁止を導入するには、貧しい国々の労働者を支援するための基金を設立する必要があると思う。飢餓で死ぬのはアスベストで死ぬのと同じくらい不幸なことだから」



セリーナ・テイクウェさん
NUMSA、南アフリカ共和国

「組合はアスベスト禁止を達成するために、積極的に政府に働きかけなければならない。アスベストに代わる材料があるのだから、21世紀にアスベストを使用する理由はない」



ブランディン・ランダスさん
FGMM-CFDT、フランス

「IMFが各国の組合とともにこのキャンペーンを開始することは、とても大切だ。各国の組合にとって、自分たちの優先課題を国際レベルで取り上げさせることが欠かせない。それはIMFにとって主要な課題だ」

IMF 世界大会

大会概要

以下、第31回IMF世界大会の議事を簡単に報告する。
詳しい情報についてはIMFウェブサイト参照のこと。

土曜日午前、中央委員会：

この会合では、ベラルーシの加盟組織AAMの除名が決定された(4ページ参照)。代議員は、鎌田普氏をIMF書記次長に任命することも全会一致で決定した。

日曜日夜、開会式：

主催組織GMTが催したセレモニーでは、ビデオが上映され、踊りが披露された。ユルゲン・ペータースIGメタル/IMF会長が口火を切り、続いてマルチェロ・マレンタッキIMF書記長、ルディ・ニュルンベルガーGMT会長、ハインツ・フィッシャー・オーストリア大統領が挨拶した。

月曜日午前：

ユルゲン・ペータース会長が開会の辞を述べ、フリッツ・フェルツェトニッチ・オーストリア労働組合連盟会長が代議員をオーストリアに歓迎した。

マルチェロ・マレンタッキ書記長が書記局報告を提出、続いて討論が行われた。

月曜日午後：

新しく選出されたペーター・シエラー欧州金属労連書記長が挨拶した。

IMF規約委員会を代表して、COインダストリ(デンマーク)のイエンス・ブンドバッド氏が規約改定案について報告。マルチェロ・マレンタッキ書記長が規約改定案を詳しく概説したのち、討論が行われた。大会は改定の承認を票決した。

大会はユルゲン・ペータース氏をIMF会長に、マルチェロ・マレンタッキ氏を書記長に選出し、8人の女性を含む新しいIMF執行委員会も選出した(8ページの詳細なリストを参照)。大会はIMF会計監査委員会のメンバー構成に同意した。

IMF執行委員会は月曜日の午後に初めて会合を開き、トム・バッフエンバーガー全米機械工・航空宇宙労組(IAM)会長をIMF副会長に選出した。

火曜日午前：

オーストリア社会民主党のアルフレッド・ゲーゼンパウアー党首が、大会で演説。シャラン・パロー国際自由労連(ICFTU)・オーストラリア労働組合協議会会長は、組合が国際的に団結することの重要性について語った。

マルチェロ・マレンタッキ書記長が、火曜日と水曜日に行われたアクション・プログラム改訂版をめぐる討論を紹介し、第1章と第2章に関する討議を開始。議論ののち、これらの章が採択された。

オックスファムのアンドリア・パプマ同盟結成担当部長(オランダ)が、労働組合とNGOとの同盟結成の必要性について演説する。

これを皮切りに、火曜日と水曜日を通して数多くの決議が提出・議論・採択された。右の詳細なリストを参照のこと。

教育インターナショナル事務局長で現グローバル・ユニオン・フェデレーション会長のフレッド・バン・リュエーン氏が、大会で演説した。

火曜日午後：

マリ=アン・クランツSIF(スウェーデン)会長が、アクション・プログラムのセクション3.1および3.2を紹介。続いて、「オフショアリングの課題に取り組む」に関する円卓会議が行われた。参加者は、エミリア・ヴァレンテ(CNM-CUT、ブラジル)、エリザベス・ブン(UAW、アメリカ)、ヨーラン・ヨンソン(スウェーデン金属産業労組)、シルムコ・ノンドワング(NUMSA、南アフリカ共和国)の各氏だった。この円卓会議(および後続の2つの会議)では、イギリス人ジャーナリストのロバート・テイラー氏が司会を務めた。

アクション・プログラムの関連セクションを議論・採択した。

水曜日午前：

ブライアン・フレデリクスIMF書記次長が、アクション・プログラムのセクション3.3を紹介した。続いて、ジャ

IMF 世界大会で代議員 7 人に聞きました：オフショアリングは



シリル・タン氏
IMF-SC、
シンガポール

「オフショアリングは今や一般的に見られる現象だ。この現象は常に防止できるとは限らない。だから、失業者が雇用可能性を維持できるようにするには、新しい技能の習得が特に重要だ」



サンジャイ・バダブカール氏
SMEFI、
インド

「オフショアリングはインドの労働組合が直面する最大の課題の1つだ。当組合は、未組織労働者を対象に意識高揚活動を実施することによって、この問題に照準を絞っている」



ナポレオン・クパー氏
ICU、ガーナ

「多くの多国籍企業が、投資によって発展途上国を援助したい、と主張している。しかし、よく観察すれば、多国籍企業は労働者の搾取による利潤最大化しか考えていないことが分かる」



ナポレオン・ゴメス・ウルティア氏
SNTMMS、
メキシコ

ネット・バルゾラ氏 (CNMM、ペルー) が、契約鉱山労働者の諸条件改善を目指すCNMMの努力について熱弁を振るった。そのあと、「作業環境の改善」をテーマに円卓会議が行われる。参加者は、ケン・ニューマン (USW、カナダ)、ポール・パスチャン (AMWU、オーストラリア)、サンジャイ・ヴァダヴカール (SMEFI、インド)、マルセル・グリニャール (FGMM-CFDT、フランス) の各氏だった。

続いて、アクション・プログラムのセクション3.3を議論・採択した。
水曜日午後:

ユルゲン・ペーターズ IMF 会長が、アクション・プログラムのセクション3.4に触れた。そのあと、「社会的公正を守るた

めの闘い」に関する円卓会議が行われた。参加者は、ジアンニ・リナルディーニ (FIOM-CGIL、イタリア)、古賀伸明 (IMF-JC、日本)、フランシスコ・グティエレス (UOM、アルゼンチン)、ペギー・ナッシュ (CAW、カナダ) の各氏だった。

続いて、プログラムのセクション3.4を討議・採択した。さらに、IMF アクション・プログラム全体と大会に提出された残りの決議を採択。

ユルゲン・ペーターズ会長が、前回の大会以降に IMF を去った人々に別れの挨拶を述べた。

主催組織 GMT が催した踊りと音楽による閉会式のあと、最後にユルゲン・ペーターズ会長が閉会を宣した。

10本の大会決議:

大会では、以下の決議が提出・承認された。

- 決議1: コロンビア (USW、アメリカ)
- 決議2: アスベスト全面禁止 (イギリス支部)
- 決議3: 戦争反対 (FLM、イタリア)
- 決議4: グローバル化における女性の労働 (女性会議)
- 決議5: 男女平等に関する声明 (女性会議)
- 決議6: ディーセント・ワーク、公正な貿易および開発によって貧困を根絶する (南アフリカ共和国 NUMSA お

よびイギリス支部)

- 決議7: 製造業においてグローバル・ユニオン・フェデレーションの力を結集する (北欧諸国)
- 決議8: パラグアイ (FETRAMPAR、パラグアイ)
- 決議9: ネパール (SMEFI、インド)
- 決議10: ベラルーシにおける労働者の諸権利 (EMA、エストニア / LMLU、ラトビア / LMTU、リトアニア)

IMF 執行委員会が中国に関する宣言

IMF は労働組合権・人権に関して、多国籍企業で働く中国人労働者に関与する。

5月20日にウィーンで開かれた IMF 執行委員会の決定は、中国の経済的影響力の増大が全世界の従業員に大きな効果を及ぼしている状況に対応するものである。IMF は、中国に労働者の諸権利と人権に関する国際基準を守らせることが焦眉の急であると考えている。

IMF ウェブサイトで入手できるこの宣言は、IMF が中国との関連で果たすべき数多くの任務を概説している。

貿易問題、労働者の諸権利および人権の侵害を調査・公表する。

中国が ILO 中核的労働基準やその他の条約を実施す

るよう影響を及ぼす。

中国の多国籍企業に影響を及ぼし、中核的労働基準を守らせる。

執行委員会は中国作業部会に、2005年11月に開かれる次の執行委員会に備えて具体案を作成する任務を課した。

今回の新規加盟組織5団体

- ルーマニア全国金属労組連盟
- ロシア航空産業労組
- 全国冶金・関連産業労連 (フランス)
- KSBSI ロメニック (インドネシア)
- 全国中央労働者 (CNE、ベルギー)

労働組合活動をどのように変えましたか。

「オフショアリングは賃金・諸条件を引き下げる。当組合は、アウトソーシング企業の従業員を組合に加入させる強力な方針によって、これを阻止している」



ナーバラ・マレーさん
アマカス、イギリス

「国内の雇用保障を求める運動と国外の労働基準改善を求める運動とは、まったく矛盾しない。組合は国境を取り払い、協力して多国籍企業を振り返りにする必要がある」



アドナン・セルダログル氏
トルコ金属労組、トルコ

「オフショアリングは賃金・労働条件に対する圧力を意味する。オフショアリングを防ぐには、労働者階級の国際連帯を通して各国労働者間の不平等を抑えるしかない」



アレクサンドラ・メコッツィさん
FLM、イタリア

「私たちにとって、オフショアリングは国際行動促進の必要性を意味する。というのも、労働者の諸権利をさらに拡張・改善する必要があるからだ。労働者が互いに競い合われる状況を阻止できる方法は、それ以外にない」

大会が新規約を採択

新しい規約は、女性代表の改善、年間加盟費の透明性向上、将来のIMF財政の安定確保を定めている。

アニタ・ガードナー記

ウィーンで開かれた第31回IMF世界大会の代議員は、IMF規約改定の承認を票決した。この規約改定は、執行委員会の構成、年間加盟費および投票制度に関する。これらの改定はIMF規約委員会が勧告したものであり、以下の効果がある。

IMF機構において女性代表の参加を改善する。

年間加盟費・投票制度の公平性・透明性を高める。

将来のIMF財政の安定を確保する。

投票の前に規約委員会を代表して大会に報告したCOインダストリ（デンマーク）のイェンス・ブンドバッド氏によれば、この改定案に至るまでにはいくつかの妥協があった。「IMFのような組織は多様な利害関係を抱えているため、常に譲歩が必要だ」と同氏は述べた。

主な規約改定は以下のとおりである。

執行委員会

IMFにおける女性代表の参加を改善するために、執行委員数が18人から25人に増員された。この拡大に伴って、各地域から少なくとも1人ずつ、最低6人の女性を執行委員会に参加させることができる。

IMFにとって歴史的瞬間が訪れ、大会は実際に8人の女性執行委員を選出した。女性がIMF執行委員会に選出されたのは初めてのことである。

執行委員会の拡大により、中・東欧代表をより公平に参加させるために、この地域のポストも1人分追加された。

IMF規約改定の結果、執行委員会は委員の中から1人の副会長を任命し、会長不在時に議事を行わせることになった。アメリカの加盟組織IAMのトム・バッフエンバガー国際会長が、このポストに選出された。

年間加盟費

大会で採択された規約改定には、新しい年間加盟費モデル

の採用が含まれていた。このモデルは、加盟費の決定において公平性・透明性の向上を確保するものである。

新モデルは、国際連合が決定する各国の国民総生産（GNP）に基づいて、加盟組織を6グループに分ける。加盟組織は所属グループに応じて、組合員1人当たり加盟費1.10スイス・フランの一定割合を支払う。

例えば、オーストリア（1人当たりGNPが1万米ドル超）の加盟組織はグループ1に分類され、組合員1人当たり加盟費1.10スイス・フランの100%を支払う。ロシア（1人当たりGNPが2,501～5,000米ドル）の加盟組織はグループ3に分類され、組合員1人当たり加盟費1.10スイス・フランの30%を支払う。そして、GNPに基づいてグループ5に分類されるインドの加盟組織は、組合員1人当たり加盟費の5%を支払う。

年間加盟費の改定には以下の措置も含まれている。

財政難を理由に加盟費支払いの免除を求める権利を廃止。内戦や労働者の諸権利の弾圧など、例外的な場合は今後も検討対象となる。

250スイス・フランの最低年間加盟費を設定。

この新制度への移行をどう適用するかに関して、執行委員会がガイドラインを設定することを規定。

新しい加盟費は2006年1月1日から支払わなければならない。新しい年間加盟費モデルに従って支払うことができない加盟組織は、移行措置を取り決めることができる。

表1：6グループの年間加盟費

加盟費グループ	1人当たりGNP	入比率 / 組合員1人当たり年間加盟費
グループ1	10,000米ドル超	100% 1.100スイス・フラン
グループ2	5,001～10,000米ドル	60% 0.660スイス・フラン
グループ3	2,501～5,000米ドル	30% 0.330スイス・フラン
グループ4	1,001～2,500米ドル	15% 0.165スイス・フラン
グループ5	501～1,000米ドル	5% 0.055スイス・フラン
グループ6	500米ドル未満	2% 0.022スイス・フラン

スポットライト

新IMF規約

表2：投票制度の例

加盟組織	グループ	割合	組合員数	票数の計算	総票数
IGメタル (ドイツ)	1	100%	2,000,000人	最初の200,000名 + 1,800,000 × 100%	2,000,000
KMWF(韓国)	2	60%	170,000人	最初の200,000名	170,000
CNM/CUT (ブラジル)	3	30%	688,000人	最初の200,000名 + 488,000 × 30%	346,400
MMWU (ロシア)	4	15%	1,100,000人	最初の200,000名 + 900,000 × 15%	335,000

組合員1人当たり加盟費1.10スイス・フランの100%を支払っている。つまり、最初の20万人分の票数に加えて、残り180万人の票数の100%を与えられ、合計200万人分の票を得るということである。

CNM/CUTは組合員数68万8,000人で、組合員1人当たり加盟費1.10スイス・フランの30%を支払っている。したがってCNM/CUTは、20万

人分の票数に加えて、残り48万8,000人分の30%（14万6,400票）を与えられ、合計34万6,400人分の票を得る。

この規約改定によって加盟組織は、すべてのIMF会合で発言権・投票権を行使できるようにするには、規約に従って年間加盟費を支払うことを義務づけられる。

新しいIMF投票制度は、2007年の中央委員会で初めて利用される予定である。

大会で採択されたIMF規約の写しをご希望の方は、IMFウェブサイト参照するか、ジュネーブのIMF本部までご連絡を。

投票制度

IMF大会は投票制度の改定も採択した。これらの改定に伴い、加盟組織の票数と加盟費支払実額との関係が強化される。

新しい投票制度によれば、加盟組織は最初の20万人の組合員については、組合員数に従って投票権を得る。20万人を超える組合員数については、GNPグループ別の加盟費納入比率に応じて投票権が与えられる。

例えばIGメタルは、IMFに加盟する組合員が200万人で、

新規約Q & A

だれが新しいIMF規約を決めたのですか。

世界大会です。規約改定には3分の2の多数決が必要でした。1団体を除いて、すべての加盟組織が新規約に賛成票を投じました。

だれが新しいIMF規約を勧告したのですか。

規約委員会が大会に改定を勧告しました。この委員会は、以下の各国の代表で構成されました。オーストラリア、ブラジル、カナダ、チェコ共和国、デンマーク、ドイツ、日本、シンガポール、南アフリカ共和国、スペイン、アメリカです。

これは規約委員会が提案できる最善の勧告だったのですか。

規約委員会は改定の勧告に当たって、同委員会の案が数種類の改定モデルを検討した末に到達した妥協案であることを明確にしました。

新しい規約はIMFにどのような利益を与えますか。

新規約によってIMFにおける女性代表の参加が改善し、加盟組織にとって透明で公正な年間加盟費・投票制度が生まれます。新しい加盟費構造は、将来のIMF財政の安定をも保証します。

新しい規約はいつ適用されますか。

執行委員会関連の改定は、新たな拡大執行委員会の選出によって大会で実施され、執行委員会はすでに副会長を選出しました。

新しい加盟費モデルは2006年1月1日に実施される予定で、加盟費に結びつけられた投票制度は2007年の中央委員会で初めて利用されます。

移行期間はありますか。

新しい規約に従って年間加盟費を支払うことのできない加盟組織は、増額を4年間先送りできる移行措置を取り決めることができます。この措置を利用するには、執行委員会の同意を得なければなりません。

IMF 世界大会



韓国KMWFのチョ・ミ・ジャ代議員

女性会議に130人が集結

オーストリア・ウィーン：大会前日に、IMFは女性会議を開催した。この会議には世界中の金属労組から130人を超える女性が参加し、女性の権利、女性のための公正な所得・労働条件について議論した。

「各国で女性を動員し、組合に加入するよう説得しなければならない」と、南アフリカ共和国のセリーナ・ティクウェ氏が述べた。「そうすればIMFにおいて女性と女性問題とを強化することになるだろう」

独フリードリヒ・エーベルト財団のギゼラ・ノッツ氏が、グローバル化が女性に及ぼす影響について講演したあと、世界中の女性から報告があった。この議論で明らかになった共通のテーマは、グローバル化は実際に世界中の女性に悪影響を与えている、ということだった。グローバル化の結果、女性は資格や所得、社会保障の低下に直面している。

インドから参加したサンヨット・ヴァダヴカール氏は、多くの女性は自分たちの権利のことをまったく知らない、と指摘した。「女性は輸出加工区（EPZ）で搾取されている。私たちはEPZの女性と接触しようとたびたび試みているが、それはとても難しい。この問題に取り組み続け、情報や助言を提供しており、前向きな反応が返ってくるようになっていく」

アン・ドネラン氏が大会に報告したところによると、グローバル化の結果、オーストラリアでは不安定な仕事に就く女性がますます増えている。「臨時雇用で就いている女性は、休日や社会的給付、失業給付といった給付が少ない」

ブラジルのエミリア・ヴァレンテ氏は、グローバル化の肯定的な面を1つ確認した。「少なくとも今、組合でジェンダーに関する議論が行われるようになった。それに今では、議論や活動に利用できる情報やデータ、参考資料もある」。しかしエミリアは、労働条件についてはブラジルも他の国々と同様だと報告した。女性は低所得・低保障の仕事に就いている。

グローバル化は女性の仕事にどのような影響を及ぼしていますか。



「グローバル化によって関連産業の臨時雇用化が進み、男女の賃金格差が拡大しており、女性を取り巻く状況が不安定になっている」

アン・ドネランさん
AMWU、オーストラリア

「女性は教育水準が低いために労働市場で競争することができないので、自由市場のせいで失業している。進出企業は自社の従業員を連れてくる」

エリザベス・ガブリエル・ミゴングワさん
TUICO、タンザニア

「グローバル化によって、労働条件の低い国々に雇用が流出する危険があるので、関連産業の女性の賃金や労働時間、給付が脅かされている」

リーアン・アンダーソンさん
USW、アメリカ

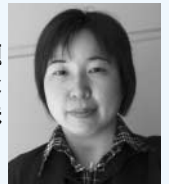
「グローバル化に伴って女性の失業が増えると同時に、パートタイムで働かざるをえない女性が増えている」

インゲボルク・アダムさん
GMT、オーストリア

「グローバル化の仕組みを示す典型例は自由貿易地区であり、ここでは賃金が非常に低い」

エミリア・ヴァレンテさん
CNM-CUT、ブラジル

「グローバル化は、諸問題を国際レベルで解決しなければならないことを意味する。企業ごとに問題を解決するのは不可能だ」

横井千秋さん
IMF-JC、日本

「エストニアでは今、欧州従業員代表委員会の設置が進められている。私たちは労働者の利益を保護するために、委員会の活動に組合活動家に参加させたいと考えている」

リュボフ・セロバさん
EMF、エストニア

This is the IMF

IMFは金属産業における労働者のための組織である。1893年に創設され、スイス・ジュネーブに本部がある。現在IMFは100ヶ国、200組織、2,500万人の金属労働者を代表している。

IMFは世界中で金属労働者の活動を強化すべく努力している。2001年の世界大会で採択されたアクションプログラムは、以下の4つの主な項目から構成されている：新しい経済システムへの転換、未組織労働者の組織化、国際連帯強化、人権・労働組合権のための闘い。

IMFの最高決議機関は世界大会で4年に1度開催される。その間、隔年ごとに全加盟組織の代表が参加して中央委員会が開催される。執行委員会は中央委員会で選出された18人の委員によって構成され、通常年に2回開催される。

IMF本部の事務所はスイス・ジュネーブに置かれ、世界的な活動は地域事

務所のネットワークで調整されている。

東部・南部アフリカ：南アフリカ・ヨハネスブルグ

南アジア：インド・ニューデリー

東南アジア太平洋：マレーシア・クアラルンプール

ラテンアメリカ・カリブ海地域：チリ・サンチャゴ

近年IMFはアフリカ、アジア、ラテン・アメリカの地域・サブリージョナル機構を強化している。これら3地域全体で11のサブリージョンが定期的に会合を持っている。いくつかの国ではIMF加盟組織が「国別協議会」と呼ばれる組織を形成している。

特別な産業部門の活動を調整するために、IMFには以下の産業別部門がある：航空宇宙、自動車、電機・電子、機械金属、造船、鉄鋼、非鉄金属、加えて作業編成のための作業部会がある。



【IMF 地域事務所連絡先】

南アジア地域事務所 (SOUTH ASIA)

Linz House
159-A, Gautam Nagar
NEW DELHI 110 049
INDIA
tel: (91/11) 651 4283
fax: (91/11) 685 2813
E-mail: sao@imfmetal.org

東南アジア・太平洋地域事務所 (SOUTHEAST ASIA)

No. 10-3, Jalan PJS 8/4
Dataran Mentari, Bandar Sunway
46150 Petaling Jaya
Selangor Darul Ehsan
MALAYSIA
tel: (60/3) 56 38 7904
fax: (60/3) 56 38 7902
E-mail: seao@imfmetal.org

IMF本部(ジュネーブ)の住所は
2ページ参照

ラテンアメリカ・カリブ海地域 事務所

(LATIN AMERICA & THE
CARIBBEAN)
AV.Providencia 2019
Oficina 42-B
Providencia
SANTIAGO
CHILE
tel: (56/2) 655 04 74-655 04 77
-655 04 78
fax: (56/2) 655 04 70
E-mail: lacro@imfmetal.org

ラテンアメリカ・カリブ海メキ シコ事務所

(LATIN AMERICA & THE
CARIBBEAN MEXICO OFFICE)
Ignacio Mariscal No. 45-101,
Colonia Tabacalera
CP 06030 MEXICO D.F.
MEXICO
tel: (52/55) 55 35 36 53
fax: (52/55) 55 35 26 14
E-mail: lacromexico@imfmetal.org

東部・南部アフリカ地域事務所 (EAST & SOUTHERN AFRICA)

Physical address:
10th Floor
The Braamfontein Centre
Jorissen Street
Braamfontein
JOHANNESBURG 2001
REP. of SOUTH AFRICA
Postal address:
P.O.Box 31016, Braamfontein 2017
REP. of SOUTH AFRICA
tel: (27/11)339 1812-339 1825/
6-339 1832
fax: (27/11)339 4761
E-mail: esao@imfmetal.org

CIS プロジェクト事務所 (PUROJECT OFFICE CIS)

Room 211
Str. 2, d. 13, Grokholsky per.,
129010 Moscow
RUSSIA
tel: (7/095) 974 61 11
fax: (7/095) 974 16 22
E-mail: pocis@imfmetal.org

行事日程表

6 月

27-29日 ラテンアメリカ自動車会議
(ブラジル・サンパウロ)

7 月

27-29日 メキシコ自動車・自動車部品産
業に関する会議
(メキシコ・クエルナバカ)

8月 - 9月

23-1日 IMFサマースクール
(スイス・ジュネーブ/ニヨン)

9 月

8-9日 BMW 国際枠組み協約実施会議
(ドイツ・ミュンヘン)
20-22日 IMF/SKF 世界労組委員会
(ドイツ・シュバインフルト)

10 月

20-21日 中・東欧事務・技術職セミナー
(チェコ・プラハ)
25-27日 アジア太平洋自動車会議
(インドネシア・ジャカルタ)

11 月

1日 IMF女性委員会
(スイス・ジュネーブ)
2-3日 IMF執行委員会
(スイス・ジュネーブ)

もっと詳しく？

ここでは全ての会議日程を掲載
していません。

随時、www.imfmetal.org/events
を参照し、最新情報をご確認ください。

「伝統的な価値観と新しい方法」

新任のベラ・バロク・ハンガリー金属労連会長は、同労連を確立・強化するための新しい方法の案出に焦点を当てている。しかし、これまで何年も伝統的な価値観に浸ってきたベラは、ハンガリーの金属労働組合運動の豊かな歴史を忘れてはいない。

ハンガリー・ブダペスト：「1973年に父と一緒に鋳造場で働き始めたとき、みんなどこかに所属している、お前は労働者として組合に所属するんだと勧められた」と、ベラ・バロク氏は語った。同氏は、ハンガリー北東部の町ミシュコルツにある伝統的な鉄鋼業中心地で生まれ育った。「当時は、みんなが結束していた。連帯は名目的な現象ではなく、いつも実行されていた。職場以外でも定期的に会合を開き、一緒に食事をした」とベラは回想する。

この時期にベラは青年運動で活動するようになり、28歳だった1981年、金属労組の最年少専従役員に任命された。この立場からベラは、1989～90年の経済的・政治的变化が金属労働者と金属労組に劇的かつ破壊的な影響を及ぼす様子を目の当たりにした。

「日向に出された氷のように、すべてが崩壊した。創業100年の企業が、あっさり破綻してしまった。金属労働者は、現在ハンガリー社会のあらゆる区分が直面している変化の影響を真っ先に受けた」とベラは言う。

ハンガリー全域で倒産が相次ぎ、失業者が増えていった。この失業率の急上昇は組合組織率にも反映され、組合員数は1990年の60万人から現在では5万人に落ち込んだ。「民営化と失業で、労働組合に関する人々の考え方が変わり始めた。人々は組合の役割を疑問視するようになり、私たちは状況が変化の中で新しいアプローチの確立を迫られた」とベラは説明する。

ベラにとって、組合を再建するには伝統を尊重するだけでなく、労働者に接触する新しい方法を見つける必要もあった。ベラは、危機的状况において直ちに役立つ知識である経済学を勉強し始めた。「だが、労働組合主義は学校で教えたり学んだりできるものではない」とベラは言った。

近年、ベラと現場労働者チームは、組合員、特に女性と若者の勧誘に焦点を合わせている。ハンガリーでは、自動車やエレクトロニクスなど新たに確立された金属加工産業において、54支部が設立さ



れた。「当労連の外観は変化しており、組合員数の減少が止まった。組合の構造が様変わりし、現在では組合員の43%が女性、20%が若者だ」とベラは話した。

「けれども、今後の課題に取り組むには、もっと努力しなければならない。過去10年間に500億米ドルがハンガリーに投資された。これは中欧への投資総額の75%に相当する」とベラ。現在、アウディ、フレクストロニクス、ノキア、エレクトロラックス、IBM、レオニ、ポッシュといった企業が、ハンガリーで事業を展開している。「しかし、資本は仕事や雇用を創出するためにやってきたのではなく、市場の獲得を進めていった」とベラは言う。

このような状況において、国際連帯と多国籍企業従業員代表委員会の役割とが重要性を増している、とベラは考えている。「現在の私たちの課題は、従業員代表委員会と組合が協力すべきことを同僚たちに理解させることだ。そして、我が国で活動する多国籍企業の本国の同僚と、もっと親密な関係を築く必要がある」とベラは締めくくった。

アニタ・ガードナー

ベラ・バロク氏の略歴

年齢：52歳
出身国：ハンガリー
居住地：ブダペスト
役職：会長
組織：ハンガリー金属労連